

## 生活環境の保全について

**質問** 仮称「鈴鹿市生活環境の保全に関する条例」の制定について。12月議会に続き「足立区生活環境の保全に関する条例」を参考に、本市にも同様の条例が必要と推察し質問する。12月議会後の経過と今後の方針を問う。

**答弁** 海岸敷きの段ボールと車両放置事案について、今後も三重県鈴鹿建設事務所と協議して、行為者と粘り強く撤去に向かって話し合う。条例

については、足立区の担当者  
を講師とする研修会に参加する  
など、法的な研究を進めている。  
全庁的な取り組みとして、ごみ屋敷  
12件、老朽家屋98件、計117件  
の事例が寄せられた。今後は「三重  
県生活環境の保全に関する条例」に  
関しても調査研究する。条例制定に  
は相当の期間を要すると思うが着  
実に進める。



**その他の質問** ○鈴鹿の海の安全施策について

## 障がい者就労支援について

**質問** 障がい者が地域の一人として生きてゆけるには福祉的就労や社会参画への支援が重要であるが市長の考え方はどうか。また、農業と福祉の連携および障害を持った親が子供より先に亡くなることに関する憂いがあるがどのような対策を考えているのか。

**答弁** 福祉的就労については、これまでの福祉教

育・医療の3施策から障がい者就労・生活支援センター等のネットワーク強化で雇用への流れを一層推進する。福祉の現場では障害を持った親が子供より先に亡くなることに関する憂いは現実の課題である。課題解決のために社会保障で守られているという観点だけでなく社会の構成員として生きていける「実感や自信」を感じられるように自立と社会参加を支援する。

## 防災行政無線についてのパート4

**質問** 防災スピーカーのテスト結果、今後の調整方法、長太地域への対応、音声の到達範囲、スピーカーの出力について。

**答弁** 2月下旬から3月上旬にかけて、機械による音圧測定試験と職員による音声確認試験を実施したが、全体的に結果は良好であった。今後、音楽の定時放送(平日の午後5時から1分間程度)に

よって、音声の到達範囲等を検証し、スピーカーの方向等を調整する。長太地域については、検証結果に基づき対応を検討する。音声の到達範囲は、気象、地形、建築物等の影響を受けるため、聞き取りにくい場合もあるので、なるべく多くの媒体から災害情報を得ていただきたい。出力は、1カ所当たり120W(一部240Wに増幅)以下になるように、2~4台のスピーカーを組み合わせている。

## 農業改革について

**質問** 国は農業を成長産業の一つとして位置づけているが本市の考え方と今後の取り組みは。

**答弁** 農業は食を生み出す大切な産業であり健全な発展が不可欠と考えている。農業者の高齢化、耕作放棄地の増加する中、TPPに日本も参加する動きがある中で本市農業へも影響する可能性があり大変厳しい状況にある。今後は新技術の

導入、鈴鹿ブランドの確立、生産から加工、販売まで6次産業を推進、専業農家等の育成をはじめ農業生産法人の規制緩和、農業委員会のあり方などは国へはたらきかける。今後国から新たな施策が示されたら各種施策に積極的に取り組んでいきたい。

**その他の質問** ○過疎化対策について